



Directors' Selection

# FOCUS

木村剛士 Takeshi Kimura | 杉山卓朗 Takuro Sugiyama | 平野泰子 Yasuko Hirano

2022.1.21 fri-2.19 sat | 12:00-19:00 | 休廊日:日、月、祝日

TEZUKAYAMA GALLERY / MAIN GALLERY

# FOCUS

TEZUKAYAMA GALLERYでは、ディレクターズセレクション展「FOCUS」を開催いたします。今展は所属アーティストの枠を超え、ギャラリーの展覧会企画に携わっている3名のディレクターが独自の観点で1名のアーティストをセレクトし、紹介するオムニバス形式の企画展です。今回は木村剛士(彫刻)、杉山卓朗(絵画)、平野泰子(絵画)の80年代生まれの3アーティストの作品をご紹介します。

木村剛士 Takeshi Kimura



1

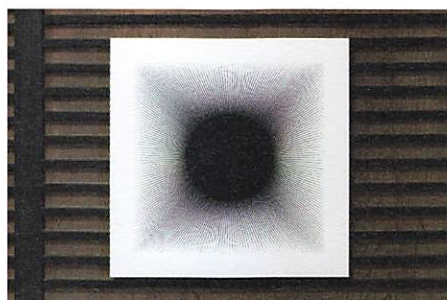


2

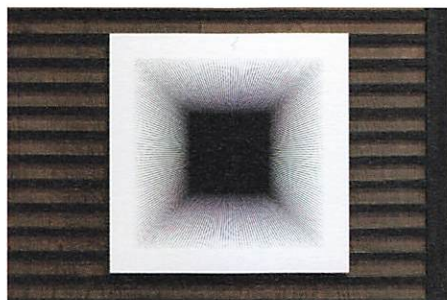
1980年、東京都生まれ、宮城県出身。多摩美術大学院美術研究科彫刻専攻を修了。周囲の環境は「自分の体を裏返したも」という視点から、地域の食文化や周囲の自然環境とをつなごうとする制作を行っており、彫刻を内包する造形性も含めた様々な特性を社会的な要素も含めて取り巻く環境として捉えようとする彫刻制作を行っている。主な個展に「IN CONCRETE」(FEI ART MUSEUM YOKOHAMA / 2017)、「N.E.blood 21 vol.60」(リアスアーク美術館 / 2017)。主なグループ展に「新鋭作家展<ざらざらの実話>」(川口市立アートギャラリー・アトリア / 2020)、「六甲ミーツアート芸術散歩」(六甲山 / 2020)、「ART MIYAGI2019」(宮城県美術館 / 2019)、「あきたの美術2016」(秋田県立美術館 / 2016)、大地の芸術祭 KAMIKOANI PROJECT AKITA2015 (秋田県上小阿仁村 / 2015) など。

1. <インサイドアウトの為の習作> 2020 | 1200×1800×1800 mm  
Mixed media
2. <“工場の臓物” インサイドアウト> 2020 | 3500×8000×8000 mm

杉山卓朗 Takuro Sugiyama



1



1

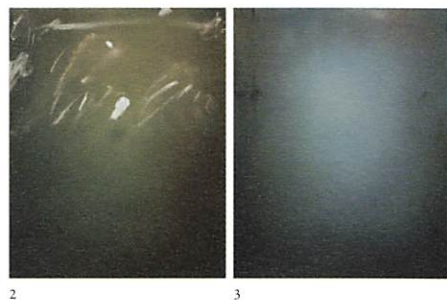
1983年、千葉県生まれ、兵庫県在住。大阪美術専門学校研究科を修了。キャンバスを前にして起こるイメージーションや衝動を廃して、線や面を反復、再構築しながら絵画を制作。イメージの生成において、作家自身の介入を最小限にとどめた制作方法を用いている。マスキングを使わずに描きながらも肉筆という霊性からも限りなく遠い絵画表現を目指す。主な個展に「周縁と方法」(五台山竹林寺 / 2017)、「LOOP」(ASYL [元梅花堂] / 2014)。主なグループ展に「2つの時代の平面・絵画表現―泉茂と6名の現代作家展」(Yoshimi Arts / the three konohana / 2021)、「DELTA×WHAT CAFE exhibition “EXPANSION”」(WHAT CAFE / 2021)、「SPR」(FINCH ARTS / 2020)、「paint( )ings」(Yutaka Kikutake Gallery / 2018)、「江之子島芸術の日々 2017『他の方法』」(大阪府立江之子島文化創造センター / 2017) など。

1. <光視> 2017 | 652×652 mm \*each size | アクリル、キャンバス  
撮影: 岡本明才

平野泰子 Yasuko Hirano



1



2

3

1985年、富山県生まれ、神奈川県在住。京都精華大学芸術学部造形学科洋画専攻を卒業。作品の根底には「風景」があるが、絵の具を幾層にも塗り重ねる行為によって生まれる空間や現象に注目するようになる。制作の中から生まれる眼差しや不確かなものに強度を持たせるために制作している。主な個展に「Twilight」(masayoshi suzuki gallery / 2009)、「Twilight」(masayoshi suzuki gallery / 2012)、「呼びかけられる」(Gallery PARC / 2018)、「不確かな地図」(CALM & PUNK GALLERY / 2018)、「Yasuko Hirano: Unfold Room」(Gallery stoop / 2020)。主なグループ展に「VOCA展2015」(上野の森美術館 / 2015)、「New Positions 2021」(taguchi fine art / 2021) など。

1. <Twilight 1812・Twilight 1809・Twilight 1808> 2018 | 727×606 mm  
木パネルにキャンバス、膠、石膏、油彩 | 撮影: 妻生田兵吾
2. <Reach the eyes> 2021年 | 652×530 mm  
木パネルにキャンバス、膠、石膏、油彩
3. <Twilight 2101> 2021年 | 727×606 mm  
木パネルにキャンバス、膠、石膏、油彩

